



## 愛媛県共同募金会会長就任挨拶

去る7月5日付けで愛媛県共同募金会会長に就任いたしました一色でございます。

共同募金は60年という歴史を持っており、赤い羽根共同募金として広く国民に親しまれてまいりました。

しかし近年、共同募金そのものを取り巻く環境は大変厳しく、募金実績は平成8年より下降の一途を辿っております。このような時代、会長という職務に携わりますことに大変な重責を感じているところでございます。

愛媛県共同募金会ではここ数年、山泉前会長の下で市町村合併に伴う組織再編や、現代のニーズに見合った募金配分を行うべく配分方法や配分対象の見直しを図るなど、様々な改革が進められてきました。山泉前会長のご功績に、衷心より敬意を表するところでございます。

一方私は、長らく銀行の経営に携わっておりますが、福祉分野に関わりますのは初めてのことでございます。しかし、銀行と共同募金会には地域の発展に寄与するという、相通ずる理念が根底にあると認識しております。

甚だ微力ではございますが、私の経験を踏まえ、共同募金会の今後に貢献できますよう全力で向かう所存でございます。

皆様からは以前にもましてご高配を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

これからの日本は本格的な少子高齢化社会を迎えまして、共同募金の存在と役割はますます重要になろうかと思えます。

寄せられた善意がどのように使われ、活かされているかという情報。この情報をいかにして「迅速に」「正確に」「分かりやすく」お伝えしていくかが、今後の共同募金会の課題であると認識しております。

県民の皆様の共同募金に対する期待に応えうるよう、愛媛県社会福祉協議会、県下の市町社会福祉協議会、県下約2万人の募金ボランティアの方々と一致協力し、共同募金運動を展開して参りたいと存じます。

今後も皆様のご理解とご支援をお願い申し上げまして、会長就任にあたっての挨拶といたします。

社会福祉法人 愛媛県共同募金会  
会 長 一 色 哲 昭